

経営比較分析表（令和3年度決算）

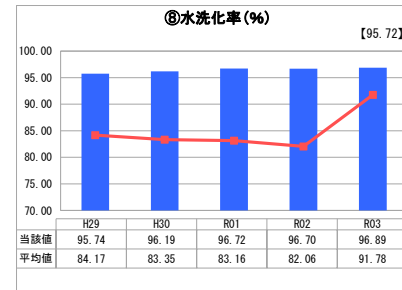
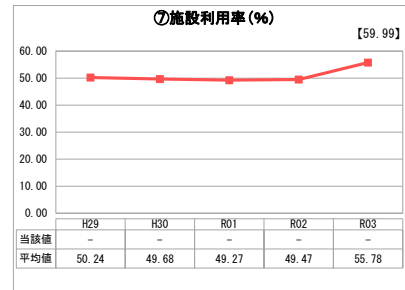
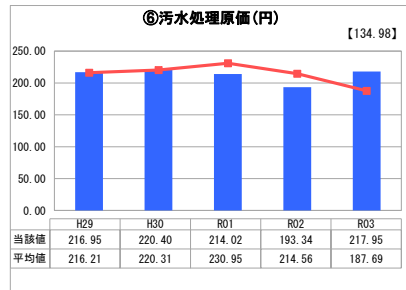
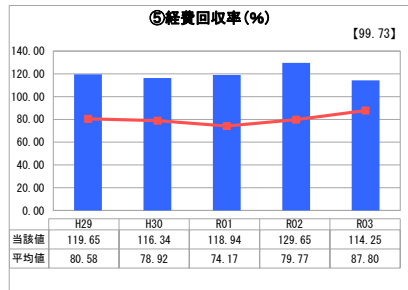
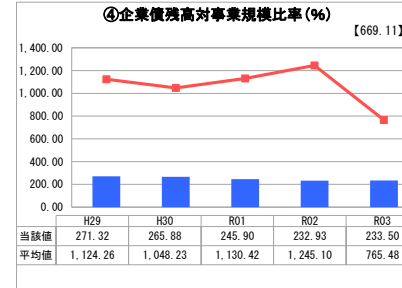
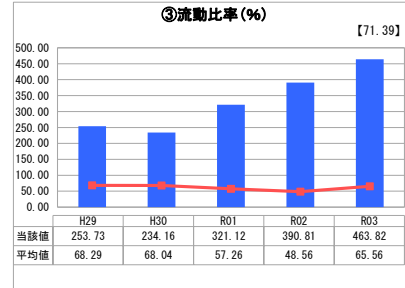
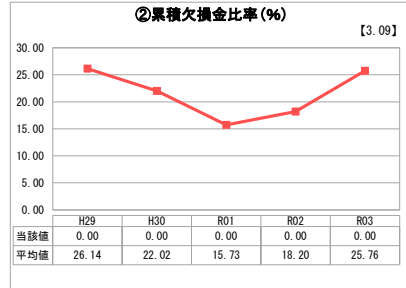
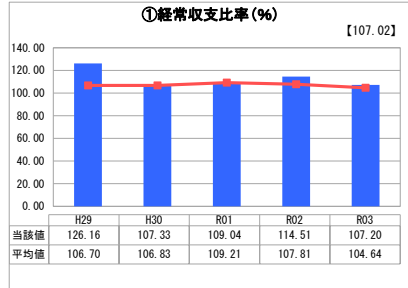
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.48	27.26	91.63	3,710

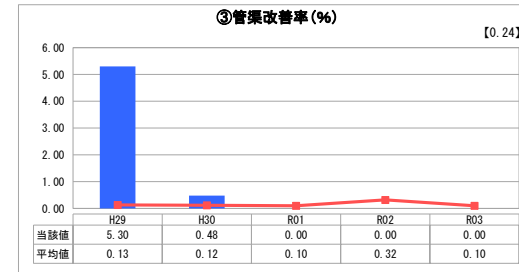
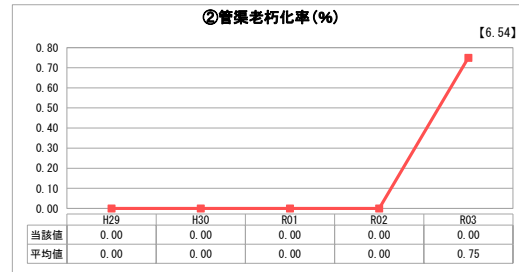
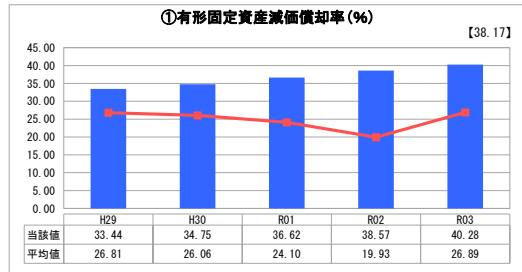
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
42,721	150.98	282.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,584	5.32	2,177.44

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は引き続き100%を上回っています。令和3年度は令和2年度に比べて総費用は横ばいだったものの、使用料収入や一般会計補助金がやや減少した影響により、数値がやや下降しました。今後、人口減少による使用料収入の減少が予測されるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

②累積欠損金比率は平成27年度決算において解消された以降、発生していません。

③流動比率は引き続き良好な状況を保っています。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体比率を下回っており、適正な数値となっています。

⑤経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賄えている状況であると言えます。

⑥汚水処理原価は、年間有収水量が令和2年度よりも減少した影響により数値が悪化し、類似団体平均を上回っています。

⑦当市には公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場に汚水を放流しているため、施設利用率は該当がありません。

⑧水洗化率については類似団体平均より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べると数値が高く、令和3年度末で40.28%となっています。よって、全体の残存価額は6割程度残っていることになります。

③平成29年度・30年度に一部の地域において管渠工事を実施したため、当該年度は数値が高くなっています。

全体総括

当市の公共下水道事業については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っているとと言えます。ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。今後、人口減少による使用料の減収や物価高騰による維持管理費の増加等が予想される中、各事業共に、引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和3年度決算）

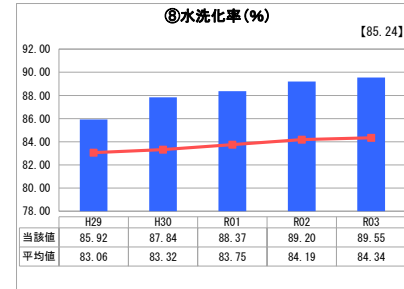
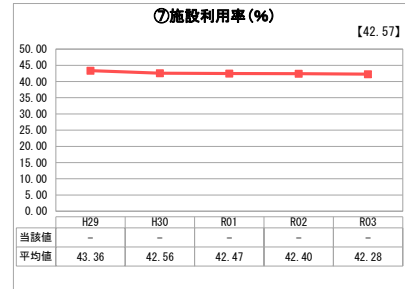
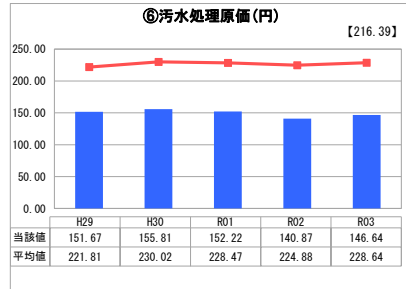
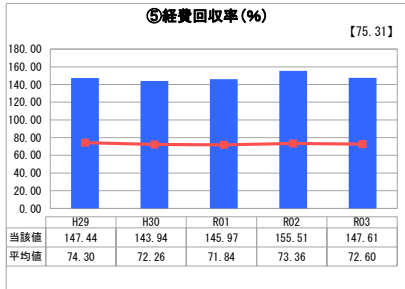
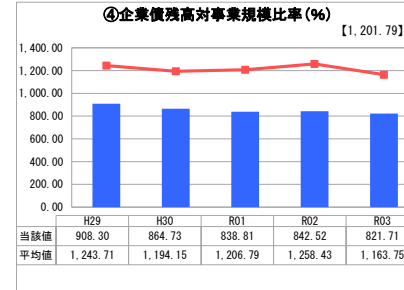
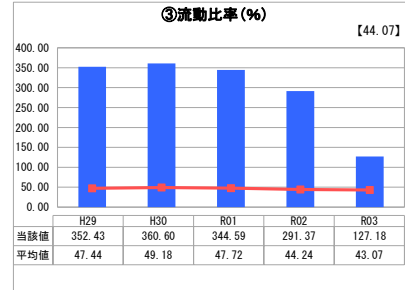
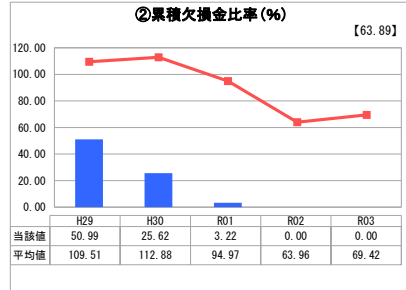
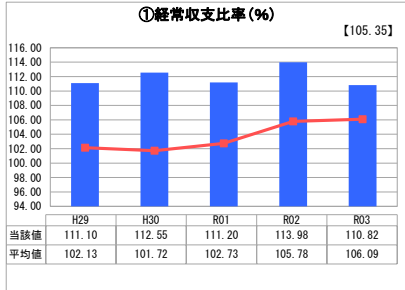
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	41.93	38.97	91.65	3,710

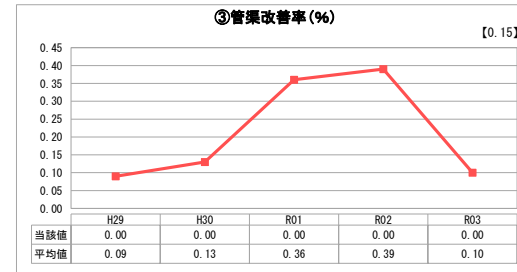
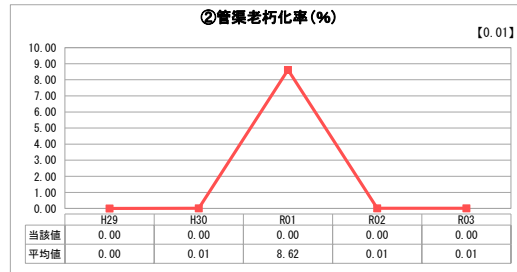
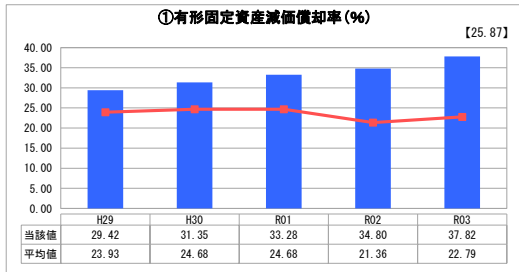
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
42,721	150.98	282.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,560	13.29	1,246.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は引き続き良好です。令和3年度は令和2年度に比べて使用料収入はやや増加したものの、コミプラ処理区の統合に伴う固定資産の移管により減価償却費が増加したこともあり、数値がやや下降しました。処理区域の統合事業により今後の収支は流動的ですが、人口減による使用料収入の減少や事業推進による費用の増加が見込まれるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。
- ②累積欠損金比率は近年黒字が続いているため改善し、令和2年度に欠損金は解消されました。
- ③流動比率は、令和3年度はコミプラ処理区の統合事業の影響で昨年度より大きく減少したものの、引き続き類似団体平均を上回っています。
- ④企業債残高対事業規模比率は引き続き類似団体平均を下回っており、適正な数値となっています。
- ⑤経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賅っている状況であると言えます。
- ⑥汚水処理原価は令和2年度より若干数値が悪化したものの、類似団体平均を下回っています。
- ⑦当市には特定環境保全公共下水道の処理施設が無く、他市にある流域下水道の処理場を利用しているため、施設利用率は該当がありません。
- ⑧水洗化率については年々上昇し類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べるとやや高く、令和3年度末で37.82%となっています。よって、全体の残存価額は7割程度残っていることになります。
- ②管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため、法定耐用年数を超えたものはありません。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道については、ほとんどの指標において類似団体平均よりも数値が良く、全体的に概ね良い状況を保っているとと言えます。

現在、農業集落排水処理施設及びコミュニティ・プラント施設との統合事業を実施しており、今後の経営状況は流動的になっていくことが予想されます。今後も引き続き経費の削減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和3年度決算）

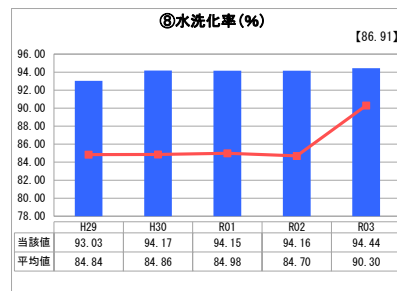
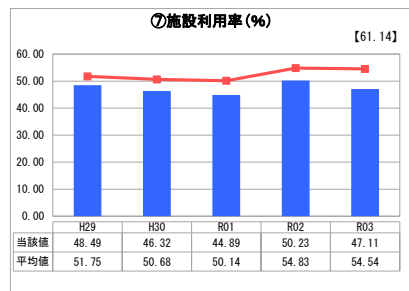
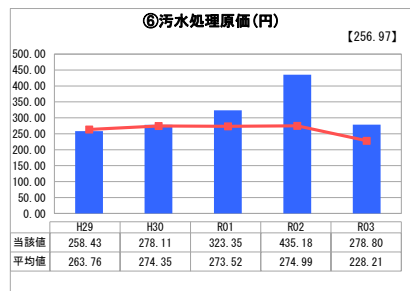
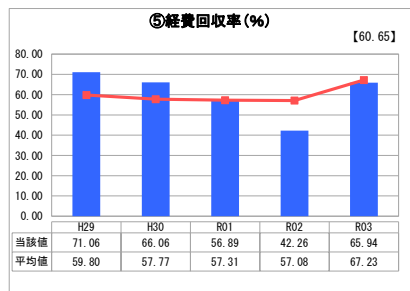
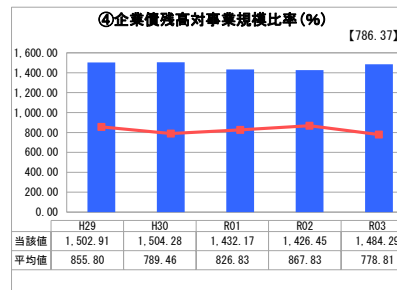
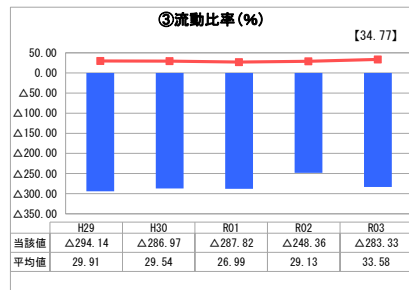
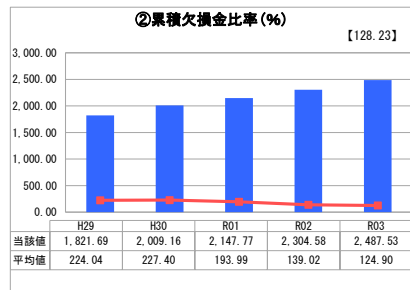
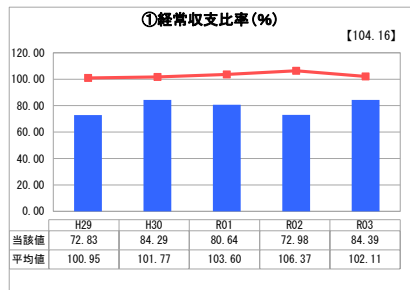
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	7.58	18.03	96.15	3,710

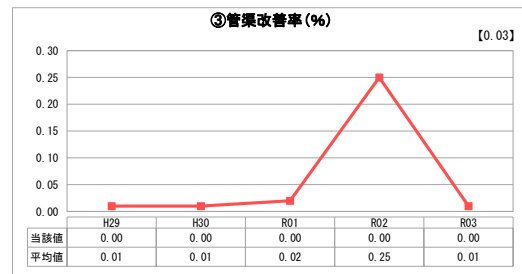
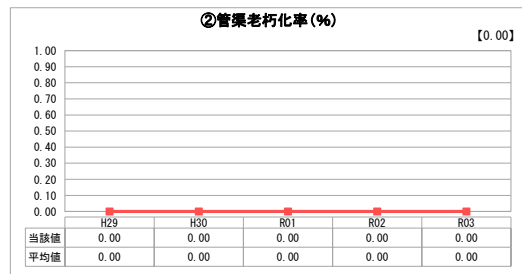
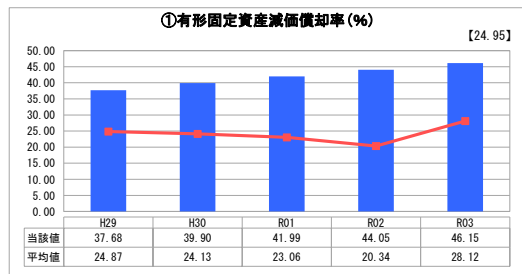
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
42,721	150.98	282.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,661	3.14	2,439.81

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は84.39%で類似団体平均を大きく下回っています。実施中の統廃合事業について、令和3年度は前年度に比べて処理施設の除却費が大きく減少した影響から、数値は改善しています。

② 累積欠損金比率は令和3年度も赤字決算のため前年度に比べ悪化しており、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。

③ 流動比率は類似団体平均を大きく下回っています。ただ、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありません。

④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を上回っています。当事業は汚水処理区域が広いため、処理施設数も多く管理延長も長いことから、整備に多額の費用が必要となります。よって、その財源として多額の企業債を借入れたためです。

⑤⑥ 令和3年度は前年度に比べて除却費用が大きく減少しました。よって、前年度よりも経費回収率は増加・汚水処理原価は減少と、それぞれ数値は大きく改善しています。

⑦ 施設利用率は、近年は40%台と低い数値で推移しています。令和3年度は昨年度から悪化し、汚水処理水量の減少により数値は類似団体平均を下回っています。

⑧ 水洗化率は90%を超えており、類似団体平均よりも高い数値となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は令和3年度末で46.15%と、類似団体平均と比べると数値が高くなっています。原因としては、本市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたためです。

全体総括

農業集落排水事業は、農村部にあたる地区の下水道事業です。広い処理区域に家屋が点在しているため、効率的な汚水処理が難しく、また20箇所近くの処理施設整備費用の財源として借り入れた起債の未償還残高が多いことから、各指標の数値はどれもあまり良くありません。

今後は、農村部における顕著な人口減少による使用料収入の影響に加えて、施設の老朽化による維持管理・更新費用についても、最近の物価高騰の影響を受け始めており、懸念される状態です。

このため現在、特定環境保全公共下水道への統廃合事業を徐々に進めており、今後、農業集落排水事業のスリム化と経営の効率化を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。